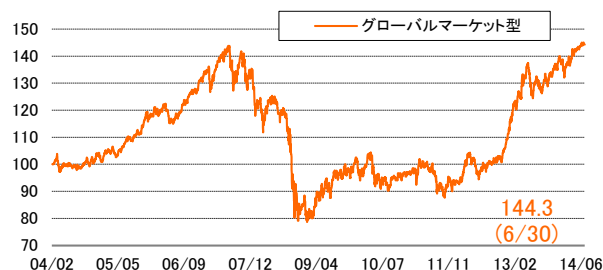


特別勘定クォーターレポート

スイス年金

新変額個人年金保険(無配当)

ユニット・プライスの推移



※ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

参考 主な投資対象の投資信託の運用状況(出所:アパディーン投信投資顧問株式会社)

世界バランス・ファンド(適格機関投資家専用)

■ 基準価額の騰落率

| | 1か月 | 3か月 | 6か月 | 1年 | 3年 |
|-------------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 世界バランス・ファンド | 0.49% | 2.85% | 3.82% | 15.28% | 53.13% |

■ 資産別構成比

| | ファンド | 複合指数 (参考データ) | ベット |
|--------------|---------|-----------------|--------|
| 株 式 | 50.64% | 50.00% | 0.64% |
| 北米地域 | 28.99% | 29.59% | -0.60% |
| 欧州(除く英国) | 10.89% | 9.43% | 1.46% |
| 英国 | 4.42% | 4.38% | 0.05% |
| 日本 | 3.75% | 4.13% | -0.38% |
| 香港・シンガポール | 1.18% | 0.87% | 0.31% |
| 豪州・ニュージーランド | 1.41% | 1.61% | -0.20% |
| 債 券 | 48.86% | 50.00% | -1.14% |
| 米ドル圏 | 16.54% | 16.47% | 0.07% |
| 欧州(除く英国) | 18.03% | 17.93% | 0.11% |
| 英国 | 3.11% | 3.04% | 0.07% |
| 日本 | 11.17% | 12.57% | -1.39% |
| 現 預 金 | 0.50% | 0.00% | 0.50% |
| 合 計 | 100.00% | 100.00% | 0.00% |

■ 通貨別構成比

| | ファンド | 複合指数 (参考データ) |
|-----------|--------|-----------------|
| 米ドル圏 | 47.60% | 46.30% |
| ユーロ圏 | 23.98% | 25.37% |
| イギリスポンド | 8.16% | 7.42% |
| 豪ドル(含NZD) | 2.10% | 2.24% |
| スイス・フラン | 2.02% | 1.98% |
| 日本円 | 16.14% | 16.70% |
| 合計 | 100.0% | 100.0% |

* 複合指数はMSCI Worldインデックスの50%、シティ世界国債インデックスの50%を加重平均した指数

| | |
|-------------|----------------------------|
| 特別勘定の名称 | グローバルマーケット型 |
| 主な運用対象の投資信託 | 世界バランス・ファンド (適格機関投資家専用) |
| 投資信託の運用会社 | アパディーン投信投資顧問株式会社 |

ユニット・プライスの騰落率

| 1か月 | 3か月 | 6か月 | 1年 | 3年 | 設定来 |
|-------|-------|-------|--------|--------|--------|
| 0.37% | 2.43% | 3.08% | 13.26% | 46.33% | 44.30% |

特別勘定資産内訳

| | | 構成比(%) |
|------------|---------|--------|
| 現 預 金 | ・ そ の 他 | 4.2% |
| 投 資 信 託 | | 95.8% |
| 合 計 | | 100.0% |

■ 上位10銘柄

| 株式 | 国名 | 業種 | 投資比率 |
|------------------------------|------|-------|--------|
| ROCHE HOLDING AG-GENUSS | スイス | ヘルスケア | 2.56% |
| ROYAL DUTCH SHELL PLC-B SHS | イギリス | エネルギー | 2.35% |
| NOVARTIS AG-REG SHS | スイス | ヘルスケア | 2.30% |
| BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC | イギリス | 生活必需品 | 2.23% |
| CVS CAREMARK CORP | アメリカ | 生活必需品 | 2.19% |
| TENARIS SA-ADR | イタリア | エネルギー | 2.04% |
| JOHNSON & JOHNSON | アメリカ | ヘルスケア | 1.99% |
| ORACLE CORPORATION | アメリカ | 情報技術 | 1.87% |
| PHILIP MORRIS INTERNATIONAL | アメリカ | 生活必需品 | 1.86% |
| EOG RESOURCES INC | アメリカ | エネルギー | 1.77% |
| 合計 | | | 21.17% |

| 債券 | クーポン | 償還日 | 投資比率 |
|-----------|-------|------------|-------|
| アメリカ国債 | 0.625 | 2016/11/15 | 1.33% |
| アメリカ国債 | 1.250 | 2018/10/31 | 1.21% |
| ドイツ国債 | 1.250 | 2016/10/14 | 0.99% |
| スペイン国債 | 2.100 | 2017/04/30 | 0.91% |
| イタリア国債 | 3.500 | 2018/06/01 | 0.87% |
| アメリカ国債 | 3.750 | 2043/11/15 | 0.62% |
| イタリア国債 | 5.500 | 2022/09/01 | 0.61% |
| イギリス国債 | 5.000 | 2014/09/07 | 0.57% |
| フランス国債 | 3.500 | 2015/04/25 | 0.56% |
| アメリカ国債 | 2.750 | 2023/11/15 | 0.54% |
| 合計 | | | 8.20% |

※当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。
※その他、3/3ページの「ご注意いただきたい事項」等を必ずご参照ください。

■運用コメント

市場概況

・日本株式

(4月)中国経済に対する悲観的な見方とウクライナ情勢の混乱を背景に円高となり、下落しました。

(5月)ウクライナ東部の軍事的緊張感の高まりなどによる円高と、内外景気への警戒を背景に大きく下落しましたが、米国株式の最高値更新等を受けて月末にかけては反発しました。

(6月)米国の製造業総合景況指数の上昇や、雇用統計の改善を受けて円安基調となったことをきっかけに上昇しました。

・日本債券

(4月)日銀は金融政策決定会合で昨年4月に導入した大規模な金融緩和策の継続を決定し、国内の長期金利はやや低下しました。

(5月)景気の不透明感を背景とした世界的な利回り低下などを要因として、国内の長期金利は低下しました。

(6月)日銀は金融政策決定会合で金融政策を据え置き、国債大量償還に伴う良好な債券需給やFOMCを受けた米長期金利の低下の影響などから、国内の長期金利は低下基調となりました。

・外国株式

(4月)ウクライナ情勢悪化により格付会社S&Pがロシア国債を1段階格下げしBBB-にするなど、日本を除く先進国株式は揉み合い、新興国は低調な動きでした。

(5月)ドラギECB総裁が6月の政策金利引き下げを示唆したことで、ドイツを中心に欧米の株式が上昇しました。

(6月)雇用や景況感が良好な米国で株価が上昇する一方、ドイツ企業景況感指数の低下に見られるユーロ圏経済の鈍化見通しなどから欧州では下落しました。

・外国債券

(4月)ギリシャが国債発行を成功させ、イタリアおよびスペインの10年国債利回りが3%近辺まで低下するなど世界的に債券利回りは低下しました。

(5月)新興国通貨が安定を取り戻してトルコで利下げに踏み切る環境が整い、格付会社S&Pが格上げしたスペインの10年国債利回りで3%を下回るなど世界的に債券利回りは低下しました。

(6月)政策金利の引き下げを含む包括的な追加金融緩和が実施されたユーロ圏の多くで10年国債利回りは低下しましたが、米国と英国では若干上昇しました。

・為替

(4月)黒田日銀総裁の会見で追加的な緩和方針が見送られたことから一時は対米ドルで101円台まで上昇し、主要通貨に対してやや円高となりました。

(5月)ユーロは、ドラギECB総裁がユーロ上昇の懸念を強調し、6月利下げの可能性を示唆したことから下落しました。

(6月)利上げの見通しが遠のいた米ドルでは下落、早まった英国ポンドでは上昇し、ユーロは対円で変わらずとなりました。

運用概況

・今四半期(2014年4月～6月)のファンドのパフォーマンスは、基準価額ベースで+2.85%となりました。月別に見ると4月が+1.52%、5月が+0.82%、6月が+0.49%となります。株式および債券は上昇、通貨は円高の影響を受けてマイナスとなりましたが、基準価額は上昇しました。

・今四半期のパフォーマンスは、ベンチマークを上回りました。その主なプラス要因となった銘柄選択効果において、株式部門では英国こそマイナスでしたがイタリア等を中心に欧州はベンチマークを上回り、米国および日本も好調でした。債券部門では、事業債等への投資が多い米国で引き続きプラスを牽引しました。資産および地域配分効果において、株式のリターンが債券を上回っていたことで株式部門へのオーバーウェイトは資産クラスとしては若干プラス、加えて地域配分において新興国市場への投資が大きくプラスしました。為替は、期中にややウェイトを調整した運用を行いました。パフォーマンスへの寄与は限定的でした。

・今四半期の資産配分については、期初から僅かに株式のオーバーウェイト、債券のアンダーウェイトを基準とし、期中での変更はありませんでした。株式については、北米地域や日本のアンダーウェイト、欧州および香港・シンガポールなどアジア株式のオーバーウェイトを継続し、加えて新興国市場にも引き続き投資しています。債券については、国内外で中立的な配分としました。為替に関しては、期初に米ドルおよびユーロ等の各通貨で中立としたのを、期中に米ドルや英ポンドをオーバーウェイトとする一方でユーロをアンダーウェイトに変更しました。

運用方針

・米国など一部の株式市場が最高値圏で推移しているものの、世界的に景気見通しがやや改善傾向となり、超金融緩和の解除への思惑が台頭していることなどから、資産配分で株式はオーバーウェイトとし、やや相場に過熱感のある北米地域や日本をアンダーウェイトする一方、欧州(除く英国)および香港・シンガポールを引き続きオーバーウェイトする予定です。

・債券はアンダーウェイトとし、各地域で全般に中立とする中、日本は現預金相当分をアンダーウェイトする方針です。

・為替に関しては、米ドルや英ポンドをオーバーウェイトする一方、ユーロをアンダーウェイトする予定です。

※当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

※その他、3/3ページの「ご注意いただきたい事項」等を必ずご参照ください。

当資料はアクサ生命が新変額個人年金保険「スイス年金」の特別勘定について運用状況などを報告する資料です

ご注意いただきたい事項

▲ 投資リスクについて

この保険の据置(運用)期間中の運用は特別勘定で行なわれます。特別勘定資産の運用実績に基づいて年金額、死亡給付金額および解約払戻金額等が変動(増減)します。特別勘定資産の運用は、株式および公社債等の価格変動と為替変動等に伴う投資リスクがあり、運用実績によってはお受け取りになる年金額や解約払戻金額の合計額が一時払保険料を下回ることがあります。これらのリスクはすべてご契約者に帰属します。

▲ 元本欠損が生じる場合があります

解約の時期、被保険者の契約年齢等の諸条件により、ご契約者等が受け取る金額の合計額が、お払込保険料の合計額を下回る場合もあります。

保険会社の業務または財産の状況の変化により、年金額、死亡給付金額、解約払戻金額等が削減されることがあります。

▲ 諸費用について

| | |
|---------|---|
| 契約初期費 | 一時払保険料に対して 5.0% を特別勘定繰入前に控除します。 |
| 保険関係費 | 特別勘定の資産総額に対して(年率 0.75% +運用実績に応じた費用 ^(※))/365日を毎日控除します。 ※ 運用実績に応じた費用:運用実績を毎日判定し、実績が年率 1.5% を超過した場合のみ、 超過分1%あたり0.1%(上限1.25%) を控除します。 |
| 年金管理費 | 年金支払開始日以後、支払年金額の 1% を年金支払日に控除します。 |
| 資産運用関係費 | グローバルマーケット型 年率0.7344%程度 |

資産運用関係費は将来変更されることがあります。

その他お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金がかかりますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。

その他ご注意いただきたい事項

- 当資料は、特別勘定の主な投資対象である投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- 新変額個人年金保険「スイス年金」は、生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者様が直接投資信託を保有されている訳ではありません。
- 新変額個人年金には複数の特別勘定グループが設定されており、「スイス年金」には「特別勘定グループ(TS型)」が設定されています。保険料繰り入れおよび積立金の移転は「特別勘定グループ(TS型)」に属する特別勘定に限定されます。「特別勘定グループ(TS型)」以外の特別勘定グループに属する特別勘定への保険料の繰り入れおよび積立金の移転はできません。
- 特別勘定および特別勘定の主な運用対象となる投資信託の内容が変更されることがあります。
- 特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほかに、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用等を特別勘定資産から控除していることなどによるものです。
- ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

新変額個人年金保険(無配当)「スイス年金」は現在販売しておりません。

[募集代理店]

株式会社東京スター銀行



東京スター銀行

0120-330-655

(平日 9:00~21:00 土日祝 9:00~17:00 年末・年始を除く)

ホームページ / <http://www.tokyostarbank.co.jp>

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-933-399

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>